

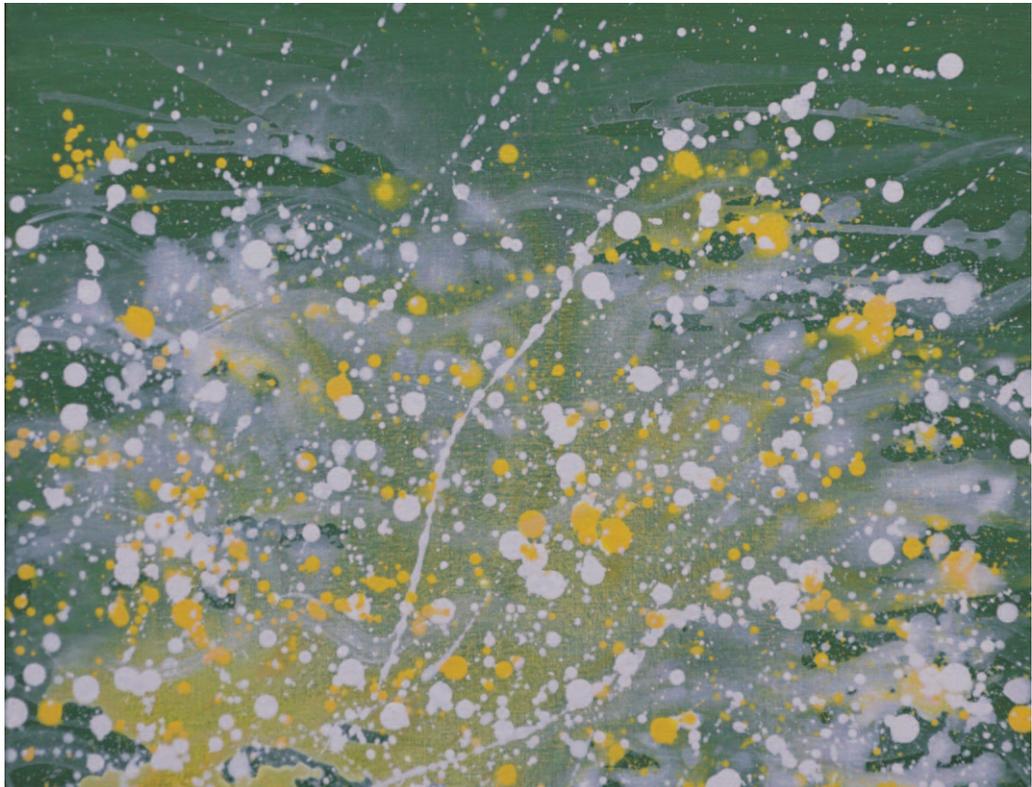


あだいに

96号

令和2年4月15日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>
〒010-0201 秋田県潟上市天王字上江川47 ☎(018)878-6028 FAX(018)878-2517



目次

特集 新型コロナウイルス

- ・ 新型コロナウイルスの教えるもの
一正しい情報開示と医療崩壊の危機ー 浅利正雄 … 2
- ・ 新型コロナウイルス 笹尾 知 … 3
- ・ 未曾有のパンデミック・カタストロフィー
の原因新型コロナウイルスの感染免疫を
妄想する 三浦一樹 … 4
- ・ おらほのコロナ対応 相談員 菊地秀樹 さん
看護師 佐藤栄進 さん … 6
- ・ 感染症対策について 薬剤師 阿部良之助 先生 … 7
- ・ 病は名から~感染症あれこれ~ 佐々木康雄 … 8
- ・ 新型ころんだウイルスでこけそうな
アベノミクス 大窪天三幸 … 9
- ・ 北海道に行ってきました 肥田野文夫 … 11

- 会長レター^⑭
新型コロナウイルスは悪魔の仕業か、
神の試練か 佐々木範明 … 12
- 理事会~新型コロナ対応~ … 12
- 生涯教育講座 飯野健二 先生 … 13
- ワンポイントアドバイス^⑳ 香曾我部秀雄 先生 … 14
- 糖尿病と歯周病 橋本 徹 先生 … 15
- 今日の診察室から^㉔ 佐藤浩和 … 16
- ある乗り鉄旅の思い出 秋元正年 … 17
- 私のおすすめの本 萱場 恵 … 18
- ふんふんコラム … 19
- ナイトキャップ … 20
- 編集後記 … 21
- 表紙説明とバリ便り … 22

特集

新型コロナウイルス

病原体の管理体制や感染症分類の見直し等を目的に2007年6月に全面施行された感染症法の附則は、概ね以下の如し。

人類はこれまで、疾病、とりわけ感染症により多大の苦難を経験してきた。ペスト、痘そう、コレラ等の流行は時に文明を存亡の危機に追いやり、感染症を根絶することは人類の悲願：

とは申せ、新型コロナウイルス対策は混乱が続く。こんな時にこんな御題に挑むのは火中の栗拾いも同然ですが、ここはひとつ、当医師会の根性を見せましょう！



コロナウイルスの教えるもの —正しい情報開示と医療崩壊の危機—

杉山病院（潟上市）

浅利 正雄

トランプ大統領のように中国ウイルスとまで言わないが発祥は中国武漢市であろう。ここまですべて拡大を防げなかったのは情報

が正しく伝えられなかったこと
で対応の遅れがあったからだと思ふ。警告を発した医師は当局に一時、拘禁されたという。自身も発症し死亡したが、どんなに残念なことであつたらう。

麻生副総理は中国のデータは信用ならないと言う。今までの経過から全く同感である。では我が国の情報開示は正しかったといえるか。「モリ」「カケ」「サクラ」これだけで意味が分かるような話は政府の組織的隠蔽（いんぺい）ではないのか。総理は丁寧（ていねい）に説明したと言うが、口先だけで全然説得力がない。タイミンクよくシュレッターにかけられるなど「みえみえ」のような気がしてならない。

今朝（2020・3・24）の秋田さきがけ新聞の社説でも「公文書のずさんな管理に歯止めを」とあり、公文書は国民共有的知的財産で民主主義を支える重要な役割を担うとあり、正に重大な局面で国民をしらげさせるようなことがあってはならない。法律にふれないから正しいのではない。
イタリアの発症数と死亡数の多さは、中国と同国の交流だけでは説明できないのではないだ

ろうか。医療崩壊に近いのではないか。日本医師会でも問題にしているようだが、資本の論理で医療体制を考える危険性を示しているのではないか。
今のところ、診療所、病院の発症は少ないようだが、防護服もない施設で患者さんが発症したら、専門家の意見を尊重して十分な対策と正しい情報開示を期待し、感染が拡大しないことを祈るしかない。



古城山から一望する桜の街・角館



松木内川土手のソメイヨシノ (角館)



コロナウイルス

笹尾医院 (五城目町)
笹尾 知

新型コロナウイルスの世界的流行によりWHOはついにパンデミックと宣言した。各地で株安が進行し経済も混乱してい

る。スマホ上でフェイクニュースが飛び交って混乱に拍車をかけている。トイレットペーパーが買い占められたりしている。そんなことしなくても思うのだが、群集心理でしょうがない。

人類は昔からいろいろな伝染病と戦ってきた。ジェンナーは自分の子供に種痘をして、天然痘を防ぐことに成功、これにより今では地球上から天然痘という病気がなくなっている。

ジェンナーは牛痘という牛の病気から病原体をとったと我々は習ったように思うが、実は馬のひづめにも同じような病気が起き、そこから病原体採取したという。天然痘がウイルスに

よって発病することが、まだ分らない時代のことだった。

細菌やウイルスによって引き起こされる病気を感染症というが、その病気を人体に備わっている免疫の力で予防したり、治療させたりできるということが発見した人類にとって偉大な業績の一つだった。

顕微鏡の発明により目に見えない細菌が見えるようになり、結核や赤痢、コレラ、肺炎などいろいろな病気が細菌によって引き起こされることが分かり、外科的手術に際し滅菌消毒が行われ、それまで助けることができなかつた病気から命を救われるようになったのである。

梅毒の原因スピロヘータを発見し有名になった野口英世は、アフリカに渡って黄熱の研究をし黄熱に倒れ亡くなった。偉人として教科書に載り、千円札に肖像が描かれている。ウェーブのかかった長い髪、理知的な目で見つめ魅力的だ。しかし実像

は背も低くあまり風采もあがらなかつたという。その上、借金を返済しないので有名だったらしい。こんなことを知つたのは医者になってしばらくして新書版の伝記を読んだからである。

英世の時代には黄熱がウイルスによる病気だとはまだ分らなかつた。

濾過性病原体が目に見えるようになったのは電子顕微鏡ができてからである。私が学生の頃、やっと実物の見学をした記憶がある。今ではテレビの画面で大きく見えるが、あれは実際の画像をパソコンで更に拡大しているのだろう。内部構造などはよく分らない。

ウイルスによる病気は沢山あり長い間人類を苦しめてきた。しかし医学の進歩により、これらの病気も次第に克服されつつある。天然痘はなくなつたし、小児麻痺も殆どなくなつた。はしかもワクチンをきちんと接種すれば予防できる。インフルエ

ンザもワクチンがあるし有効な薬も何種類かある。しかし小児の場合脳症を起こしたり、高齢者ではサイトカインという病原体を攻撃する物質をリンパ球が出しすぎて、自分の臓器が侵されてしまい多臓器不全となって亡くなることもある。

コロナウイルスの感染で高齢の方が肺炎を起こして亡くなるのには、何らかの免疫の異常があるのかもしれない。

昔なら中国の奥地で変な風邪

が流行っているというくらいで済んでいたかもしれないのに、

中国が経済大国となり交通が発達し、大勢の人があちらこちらに移動するため感染が世界中に広がってしまったと思われる。

これまでも経験のないウイルスが出現している。例えばエイズなどでは、とても効果のある薬は作れないだろうと言われていた。しかし今では薬ができています。その開発には何年もかかった。早く薬やワクチンを作

れと、安倍さんに要求しても無理な話で、感染しないように用心することが大切である。B型

やC型の肝炎のウイルスが見つかったのも私が医学部を卒業してからだった。そしてそのウイルスを攻撃する人体の仕組みが肝硬変を起こし、やがて肝臓癌となることが明らかになったのである。手足口病も学生時代には習わなかったような気がする。

狂牛病と言われたクロイツフェルト・ヤコブ病の病原体は

プリオンという更に小さい病原体だという。最近ではアルツハイマー病やパーキンソン病もある種の病原体による病気ではないかと言われている。医学と病気の戦いは人類が生存している限りきりが無い。

観衆のいない土俵で相撲をとっている力士はかわいそうだけれど、新弟子の頃はいつも誰もいないところでやっていたのだ。その頃の気持ちに立ち返って頑張ってもらいたいと思う。



未曾有のパンデミック・カタストロフィーの原因新型コロナウイルスの感染免疫を妄想する

藤原記念病院（潟上市）

三浦一樹

刻一刻と情勢が変わる新型コロナウイルスの禍のさなかに、1カ月後発行を見越して話題を

提供すべく思考することは至難の業である。本日3月19日の段階で、情報が真実とは思われな

い中国を除き、世界中でコロナウイルス感染が猛烈な勢いで拡大蔓延している。その中で日本がかるうじて持ちこたえているのは、感染症法などの法を順守する精神と、ほかの人に迷惑をかけたくないという国民の良識が大きいのではないかと思う。

WHOがCOVID-19と命名した中国発祥のコロナウイルスは、SARSと同様ACE2

(angiotensin converting enzyme 2) に親和性のあるウイルスであることが明らかとなり、第2のSARSとも受け取れるSARS-CoV-2と称されている。この新型ウイルスは以前に経験しているSARSウイルスとは異なる病原性の特徴がある。

例えば、感染初期症状は毎年流行するコロナウイルス風邪と

比較しても軽微であるにもかかわらず、いつまでもだらだらと続き、一度治ったようでも、また感染症状が再燃する。感染機会からの潜伏時間がやたらと長い。かといって感染者がみな同じく重症化するでもない。老人が重症化しやすいのはどの流行性感染症でも同じだが、今回は若い人の重症化が極端に少ない、などを挙げることができる。

おおよそ病原性ウイルスは、親和性のある細胞への付着と、さらにその細胞内に侵入するための機序をいくつか持ち合わせているだろうと想像する。RNAウイルスの中でも最もゲノムサイズが長いものの一つであるコロナウイルスは、おそらく上部気道粘膜への付着のための構造のほかにもいくつかの別種の細胞の、特殊なタンパクにくっつくオプシオンを備えることが構造的にできやすいのかもしれない。異種動物間で交差したりして（穿っていえば人為的に

操作され）特異性を獲得することも想像される。また、細胞内に侵入する機序も細胞系列ごとに異なり、さらに侵入後にはその細胞に備わっていないかった機能をもたらす可能性もある。免疫変容がその一つだ。

このたびの疫学的情報を総合して考えると、感染早期に感染防御的に働くであろう自然免疫



珠林寺のクリスマスローズ（秋田市下浜）

系を阻害する（たとえばコロナのような一本鎖RNAウイルスではTLR7の無効化？）機序があるかもしれない。あるいは獲得免疫系ではその機序が少し弱体化している個体の免疫担当細胞に付着しやすい構造を備えているのではないかと考えてみたくなる。例えばそれが、感染や腫瘍の抑制に働くCD8+T細胞だとすると、本来であれば感染病原体が侵入すれば直ちに抑制的に働いても良いはずだし、ましてや相手が、これまで何回も風邪をひいたときのコロナウイルスなら、獲得免疫反応も期待できるだろう。しかし、ここで、これまであまり想像されてこなかった獲得的免疫寛容が絡んでくる。

長い人生の間に我々は、様々なウイルスや細菌の潜在性感染を許容するように生きてきている。例えば誰でも幼少時に不顕性感染するヘルペス科系のサイトメガロウイルスだ。多くがこ

の慢性的潜在感染を抱え、これを抑えんがために大きな負担を強いられる。担当するのは抑制性のCD8+T細胞であるがヘロヘロになっているようだ。これは疲弊免疫細胞と呼ばれる。疲弊細胞上には、なんとあの癌の免疫チェックポイント治療で有名となったPD-1という分子が多く発現しているらしい。そこでもしコロナウイルスがこのPD-1分子をターゲットの一つとして認識したらどうなるか。おそらくCD8+T細胞に癌のPD-1Lが結合してCD8+T細胞のがん抑制作用を阻害したようにCD8+T細胞の感染抑制作用を弱め、だから感染をもたらす。その後その抑制性T細胞が崩壊するや、必死に抑えてきた感染やがんや自己免疫などの邪悪なものがパンドラの箱を開けたように突沸する。私たちは、これまで経験したことのない生体防衛戦争を目撃しているのかもしれない。

おらほの コロナ対応

老人保健施設 くらかけの里(潟上市)

相談員 菊地 秀樹さん
看護師 佐藤 栄進さん



菊地 秀樹さん



佐藤 栄進さん

世間を騒がしている新型コロナウイルス。毎日のようにテレビや新聞に、大きく報道されています。その感染力は非常に高く、再燃する感染症であることが分かりました。秋田にも感染者がでた報道もあり、いよいよ感染と隣り合わせの状況になりました。また若い人(筆者共に四十路も含め?)は、感染して

いても症状が軽く、気づかないこともいわれているなかで、「不要不急の外出を控えるように」との、終わりが見えない注意喚起が、小・中学生の子を持つ親としては何とも心苦しい気持ちです。

このような世界的な感染症の話題のなかで、施設での感染予防対策の取り組みと一例をご紹介します。

ひとつは、マスクです。多くの医療機関や高齢者施設の備蓄は少ないかと思えます。当施設でも在庫数は多くはありません。私(菊地)個人としても取り寄せるために、近所のドラッグストアを探しましたが殆どが欠品状態でした。

そこで手作りしたマスクで、



くらかけのiPad

休日の外出時に使用しています。サージカル効果は低いですが、自らが発する飛沫には(最低のエチケットとして)効果があると考えています。また見た目がかわいいので、ちょっとした話題にもなります。今日では手作りマスクの作り方の情報がいくつも見受けられます。繊細なモノづくりを得意とする日本人の特性を生かして、今後、より効果的な手作りマスクができると思います。マスクの品薄が



手作りマスク

長期的になれば、手作りマスクを職場でも使用する日も近いのかと思います(ちなみにマスクを作ったのは奥さんです・笑)。次に当施設では現在面会を中止しています。この時期インフルエンザ等の感染予防から、面会制限を行っている施設は多いことと思いますが、当施設では数年前からiPadを使い、テレビ電話(スカイプ、フェイスタイム等)での会話ができるよ

うにしています。家族の通信環境が整っていることが前提ですが、施設に来所されなくても、笑顔を見て安心できるように活用を推進しているところです。

最後になりますが、新型コロナウイルスはインフルエンザと同様に、飛沫感染・接触感染とされていることから、職員に①手指の清潔（手洗いと手指消毒）、咳エチケットを徹底すること②生活環境の清潔保持（館内の換気をはじめ、テーブル・手すりやドアノブ等を次亜塩素酸水で1日2回の拭き掃除）③体調に万全を期して心身共に健康で過ごすように心掛ける（休日には人混みを避けたり、出勤日は起床時と入館前の検温、37.5℃以上は出勤停止）など、周知徹底を図っています。

新型コロナウイルスについては、分からないところもありますが、徐々に分かってきたところもあり、日々情報が変化しています。その変化に十分対応し

ていきながら、私たち職員は今後もしっかりと予防対策を行い、自分自身を守ることに、そして

て周囲の人を守るため感染を広げないという意識を持つことも大切だと感じています。



感染症対策について

南秋調剤薬局（湯上市）

薬剤師 阿部 良之助 先生

誰でもできる感染症対策といえばマスク・手洗い・うがいと思っておりますが、うがいは

いつの間にかインフルエンザ等に対して予防効果があるか断言できないことから見当たらなくなりました。つまり、マスクと手洗いが感染症予防の中心となります。

感染経路という接触感染の予防には手洗いが有効であることは知られています。

飛沫感染予防といえばマスクになると思いますが入手困難になっています。ある薬局では「対応が遅い!」★★★しろ!」など罵倒を浴びせられる時もある

ようになります。ウイルスより人の方が怖いとか。

マスクといえば、感染症専門医の忽那先生が書いた「正しいマスクの使い方」という記事が取り上げられていました。

悪いマスクの使用例として、口は隠して鼻が出ている「鼻マスク」、鼻どころか口も出ている「顎マスク」、中にはマスクをしない時に肘につけておく「肘マスク」というのもあるようです。ここまでは来るとファクションのようです。

マスク不足により最近では3日に1回のマスク交換やマスクを洗って再利用することも話題になっていました。また、マスクをキッチンペーパーや布で作るという動画も出ています。もはやマスクは安心感を高めるための道具のように思えます。

以前SARSが流行した中国では、発症していない人からもSARSの抗体が検出されたそうです。人の免疫が微量の抗原



森林公園の梅（秋田市浜田）

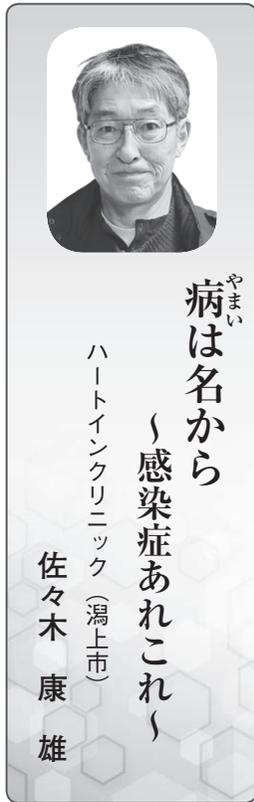
から抗体を作り出したと考えられます。マスク不足により不安感が強くなるのもわかりますが、不安等により免疫力が低下することも報告されています。そういう意味ではキッチンペーパーマスクで安心感を求めるのはいいかもしれません。

そもそもマスクは感染症の予防になるのか？ ということに關してはいろいろな意見があるようですが、今のところマスク

単独でのインフルエンザ等への予防効果は示されていないようです。そのためWHOも接触感染の予防になる手洗いを推奨しています。マスクが必要なのは咳やくしゃみなどの症状がある人で、そのような人がマスクをすることで飛沫感染防止に効果があるとされています。ただし、鼻・顎マスクではなく正しくマスクを装着し、こまめに交換して初めて効果が発揮される

ものと思います。中国では新型コロナウイルスの感染は家庭内が多いということがWHOと中国の専門家チームから報告されました。家庭内でも接触感染予防には手洗いが有効と思われます。では飛沫感染は？

を推奨していますが、近年多いといわれている、1人で食べる「孤食」又は家族がそれぞれ別ものを食べる「個食」であれば食事の際の飛沫感染をある程度予防できそうです。そういえば日本の文化には恵方巻があります。恵方巻は目を閉じて願いを思い浮かべながら皆同じ方角に向かって無言で食べるというもの。あとは想像にお任せします。



「小さなことでも見落とすな。ほんの少しの水漏れから大きな船も沈む」米建国の父ベンジャミン・フランクリンの言葉である。その米国も新型コロナウイルス

ルスの大流行で半ば鎖国だ。極東の風土病と考え水漏れを軽視した愚を反省し、金棒を持った赤鬼がコロナを「中国ウイルス」と断じれば、マスクをしたガマ

蛙は米軍が武漢にウイルスをばらまいたと激怒し、ガキ大将は互いに引かない。ヨーロッパに梅毒が流行したその昔、フランスはこの性病を「ナポリ病」と呼び、イタリアは「フランス病」といい、オランダは「スペイン病」、ロシアは「ポルトガル病」、トルコでは「キリスト教徒の病」とな

に持ち込んだという説に対し、ヨーロッパが起源という話もあり、不都合な病には嫌いな国の名をつける傾向があるようだ。俵万智に「取り返しつかないことの第一歩、名付ければその名になるお前」という子の命名を詠んだ短歌がある。コロナで負けたら取り返しがつかないから赤鬼もガマ蛙も譲らない。しかし欧州で1495年に確認された梅毒は1512年に京都の



散歩が苦手なコロナ眼のジオン君

花柳界で開花したというから感染の濃密さ速さに驚く。

人類の歴史は飢餓と感染症との戦いといって過言ではない。コメの減反と一緒に始まった八郎潟干拓は、飢えを恐れた国家の過剰適応で、病気を「感染性」と「非感染性」疾患に分類するように、感染症の克服もまた人類の悲願であった。

しかるに日本の季節性インフル死亡数は年3千人、ヒトパピローマウイルスHPVによる子宮頸がん死者数も3千人。双方

に予防ワクチンがあるのに日本の頸がんワクチン接種率は超低い。国によっては子宮頸がん撲滅も近い今日、日本だけ若年女性死亡率が突出している。

2014年師走、私は全身黄疸と肝機能2千台で入院した。診断はE型肝炎、原因は野生動物ジビエや肉の生食といわれ保健所の調査を受けた。都内で10月に生焼けの串豚肝を食ったことを思い出したのは調査の1ヵ月後。潜伏期間2ヵ月だった。このE型は指定感染症4類で、3類のコレラ、チフスより格下、5類の季節性インフルやエイズの上、新型コロナウイルスと同格の2類、1類はペストやエボラ熱で、そのエボラもアフリカ・コンゴの川の名である。2類のコロナ感染者は犯罪者並の厳しい取り調べを受ける。4類の私とは格が違い、プライバシーもへったくれもない。そう思っていたら調査を拒む者が増え「感染経路不明」多発だ。

甘い。国は3月末にやっと海外渡航と入国制限を口にした。爆発的流行を利用し少子高齢と介護財政の改善がねらいか。筑波のガマの油は何にでも効く。冷や汗で作った中国製ガマ

の油でコロナ収束を言い張る国。五輪パラ延期で気が緩んでいる国。「日本コロナ」となすりつけられる前に禪ぜんを締め直したい。攻撃の手を緩めてもコロナは必ずまた来る。



新型コロナウイルスで こけそうなアベノミクス

大窪胃腸科内科医院（五城目町）

大窪 天三幸

何年か前に買った『失敗の本質』（戸部良一ほか・中央公論新社2012・11・5、48刷）を今年になってから読んでいた。そこへ2月になり新型コロナウイルス

遅れて経済政策が国会で議論されている。信頼性はともかく、国の指針に基づき県や医師会から次々と毎日のように対策についてFAXが送られてくる。

ナウイルス感染の勃発のニュースである。3月18日現在原稿を書いているうちにも刻々と新しいデータが報告されてとうとう収束は5月にならないとわからないという。この間、隔離政策、

しかし現在のところ有効な治療法がないことから我々のような開業医にはこれらのFAXは何の役にも立っていない。ウイルス検査のできるところは出入りの検査業者では怪しい血液は

お断りです、限られた保健所か医療機関なのでお手上げである。早い話、早く有効な薬を開発してくれと言うことだ。また症状が軽快した患者の中にはエイズの薬、インフルエンザの薬、喘息の薬が有効であったと散発的に報道されているが、具体的にどういふ薬が患者に有効であったかという詳細なデータは報道されていない。これがますます恐怖感を与えている。

日本の専門家は当初、致死率がインフルエンザの10分の1だから恐ろしくはないといっていた。日本政府もそのように致死率は高くはないような発表をして無理に恐怖感を抑えていた。だが米国の学者が致死率はインフルエンザの10倍と発表。その後WHOもパンデミックの様相を示してきたと警戒をするように発表。国会ではかつてのサーズの際に政府が決めた条項が生かされていないともめた。

私は読書のスピードが遅く、

1月に読み始めた400頁の『失敗の本質』をようやく終えようとしている。大東亜戦争でなぜ敗戦に追い込まれたかを分析した内容であるが、簡単に言えば日清・日露戦争時代の考え方、戦い方が残ったまま旧式の武器も残り、武器の開発、武器・弾薬・食糧輸送を軽視して、精神主義（大和魂？）が優先し、食糧輸送については現地調達という指令まで出した。戦争の終結時期も十分議論しないまま沖縄本土決戦まで追い込まれた。本書はノモンハン事件からミッドウエー作戦、ガダルカナル作戦、インパール作戦、レイテ海戦、沖縄決戦についてそれぞれ敗戦の分析を試みている。結論は、精神主義が優先し、作戦の合理性の議論が後回しになったことが敗因、としているようだ。この本を含めて日本の300万人の戦死者に対し明確に誰かが責任をとったという話はないと私は思っている。

そこで今の安倍政権について考えると、どこかこの戦争の作戦構想の過程と共通するものがあると思う。政策は思いつきの一点張りである合理性に欠け、忖度（えんた）に明け暮れた官僚、閣僚の不始末が噴出し、きちんと丁寧な説明責任を果たすと約束しながら森・加計、経済統計改竄、自民党河井参議院選挙違反、最高裁長官任命など山積する問題について、国民が忘れるまで同じ不透明な、首相が言う所謂「丁寧な説明」を繰り返している。

コロナウイルスで経済が未曾有の打撃を受け、リーマンショックを超えようとしている。また災害国債発行でとてもない借金を作るうというのか。災害は防ぎようがないかもしれないが、過去の災害時の教訓が生かされず、思いつきの政策でまた国民に多大な借金を押し付けるのだ。もっとも安倍総理には憲法改正が最優先だからといったことではないのであろう。第一



角館武家屋敷に花見客はやって来るだろうか…

次安倍政権の年金問題、第二次での拉致問題解決など多くの公約をしたはずだが、今年また北朝鮮拉致被害者の母親が亡くなられた。安倍政権の拉致問題の解決とは被害者の年老いた親族が生きているうちという意味ではない。一番悪いのはいかさま政治を許している日本国民である。



北海道に行ってきました

杉山病院（潟上市）

肥田野 文夫

母がもう数年で100才という高齢で、3匹が介護猫として寄り添っています、その子を選びようとして転倒、骨折し、いつ今生の別れになっても…で見舞いかたがた様子を見に行ってきました。折しも北海道では知事が「週末の外出を控えて下さい」で、飛行機もエアポート（空港―札幌間の快速）も乗客数人、新千歳空港はゴーストタウンでSF映画の人間のほとんどが消えてしまった世界さながらで、これが続くなら日本国はあつという間に持たなくなるかもしれません。

平成の途中からデフレ状態で経済低迷が今も続き、何より子ども、若い人たちがいない（さらに極めてひ弱で自己中で承認

欲求しかない質的に劣る…もつとも我々老人も大して変わらな（い）なら亡びるのは当然で、ゆっくりとイギリスのように存在が薄くなるあたりが落としどころのようで、ギリシャのように、も悲観論としてあります。国の崩壊が進めばまずゴミ収集、除雪などの回数が減り、医療費の自己負担が上がり、警察官、教員の減員などで治安・教育など公共サービスが悪化し、連鎖倒産による失業、そのうち停電、断水さらに犯罪が増えて現在の生活水準は維持できなくなるでしょう。安心して暮らせる…など夢物語になります、それが世界標準です。中国からの観光客や留学生という名の外国人労働者、低価格の輸入品と

赤字国債の増発でかるうじて均衡を保って行くかに見えたのが、ウイルス肺炎一つでイベント中止の続出など経済状況は極端に悪化せざるを得ず、急速に危機状態になるとはだれも予想

できませんでした。私の友人もあんなに情熱的だった複数異性との濃い接触を自粛しています。病原体は現状（3月9日現在、秋田で感染者2名）で感染力は強いが、不顕性（ウイルスを持つだけでも症状が出ない）が多い、陰性が陽性に変わることなどから逆算して潜伏期は数週間程度で、エボラ・SARSのように「罹ったら死んでしまう」という病気ではなさそうです。ワクチン、治療薬はまだありませんが麻疹、風疹のように年少者は軽症で済むこと、インフルエンザのように複数回かかることもあり、体内に潜伏するらしいのはヘルペスなど通常の感染症と同じです。

問題はたぶん報道で、病人を

その人の立ち寄った場所などまるで犯罪者のように扱い、「間違った情報に惑わされず、考えて冷静な対応を」の背景画像が「スーパーで紙製品欲しさに大行列」では、あおっているのはあなたたちでしょう、が低質なお笑い番組より笑えます。こんな状況は正解のない入試問題を考えるのと同じで、世の中は「賢くない人の割合が多い」はずですから、まわりと同じことをしないのが多分「まし」なはず。不安や変な確信に取りつかれた人、例えば電車でマスクなしで咳をした人に激昂する方や国会で恐ろしい顔をして怒鳴る政治家（ほぼジョーキです）は致死率が2%以下のウイルスよりはるかに不気味で怖い存在にみえます。

日本沈没も間近いかもしれず私もちよūdい時にこの世を去っていけそうなのがしみじみありがたい限りです。

会長レター 14



新型コロナウイルスは 悪魔の仕業か、神の試練か

佐々木病院（潟上市）

佐々木 範明



新型コロナウイルスには分からないことが多いので、悪魔と神様と会長の私の3人で対話する脚本に挑戦してみた。しかし、県医師会等の新型コロナ対策会議に追われ会報の締め切り間に合わず、次号に掲載する。

最近「離れて、つながろう」という合い言葉がつぶやかれている。ニューヨークでは19時に、パリでは20時になると、みんな屋内から外に向かって口笛や拍手、鍋やドラム、トランペットなどで、できる限りの大きな音を立て始める。もともとは新型コロナウイルスと闘う医



療従事者に感謝し励ます目的で始まったが、今は感染防止のために、「近づくことは出来ないけど、気持ちはつながっている。みんなで頑張ろう」と団結と士気を高めるため行われている。「頑張ろう!!」っていう気持ちになれる映像だ。ぜひ見て頂きたい。と、私はここでコロナビール（写真）を一気飲み！

理事会（新型コロナウイルス対応）

（3月31日 温泉くらら）

▼本日までの県内発見感染者は5名で全員「持ち込み」。AL Tが初期に受診した医療機関ではマスクをしていなかった職員が濃厚感染者疑となった。

▼感染機関は2週間閉鎖となるが、電話応対で診療可能。

▼当医師会地区に設置する公設の「発熱外来」は1カ所（男鹿みなと市民病院の予定）、診療は同院医師と協力会員による。

▼高熱や激しい咳の感染濃厚者が、マスクや防護衣等の備えがない一般診療所を受診した場合、検査・診察は行わず感冒薬等を処方し、専門機関受診を促す。PCR検査陰性を過信しない。

▼専門機関の秋田厚生医療センターと男鹿みなと病院を受診の際は、待合室感染予防のため電話予約が必要と指導。昭和・飯田川・南秋住民は秋厚へ、天王・男鹿はみなと病院へ誘導。

▼流行のピークは4月の入学・

異動から2週間後、潟上地区と男鹿地区は最高で一日各100名前後の受診予想。その際は駐車場にテント設置やドライブスルー方式の検査を検討する。

▼5月の学校健診は年度内実施へ変更。延期されていない5月の集団住民健診は極めて危険。

▼重症・中等症例は専門機関へ直行。検査陽性で無症状・軽症例は自宅待機を指導。障害者等は原則として施設内で対応。

▼専門機関以外での防護用衣類等や消毒用アルコールは不足しているが、近々政府から県を通じて支給される。

▼蛇足。軽症だった県内第1号感染者は検査が陰性になるまで入院が長引いた。その間に免疫を獲得したと思われ、こういう例にまで検査治療を密にすれば医療資源は消耗する。むしろ集団免疫獲得に期待したい。

生涯教育講座

「虚血性心疾患のリスク管理」 ～ 侵襲的治療から非侵襲的治療へ～



秋田大学大学院医学系研究科
循環器内科学講座
准教授 飯野 健 二先生

日時▼令和2年2月13日
場所▼ホテル大和

心臓のカテーテル治療（冠動脈形成術）に憧れて循環器内科に入局したが、実際にカテーテル治療をやってみると、心筋梗塞の治療も予防というものがとても大事だということを実感している。

冠動脈形成術の初期のバルーン拡張術では閉塞した冠動脈は必ずしもきれいに拡がらず、冠

動脈解離を生じさせる血管損傷術であり、血栓再閉塞を起こす可能性が高かった。また、初期のステント留置術はステントが血管内皮に覆われず血管内腔に浮いた状態の異物留置術であり、2剤の抗血小板薬を継続することが必要であった。抗血小板薬の中止でステント血栓症による再閉塞が多くみられ、2剤

の抗血小板薬の継続あるいは心房細動患者さんでの抗凝固療法時の3剤継続で出血性合併症の問題も起こってきた。その後、ステント表面の血管再内皮化を促す薬剤溶性ステントの出現とその改良で安全性がかなり担保されるようになってきているが、それでも急性冠症候群患者の冠動脈形成術3年後には約2割の心血管イベントが起こると言われている。内訳は、責任病変由来（ステントを入れた場所）と新規病変由来がほぼ半々であるが、後者はリスク管理でしか抑えられない。また、25%狭窄という自覚症状が出ないようなごく軽度な動脈硬化からも心筋梗塞を発症した症例を経験しており、25%狭窄をみた時に、「まだ大丈夫ですよ」ではなく、「もう動脈硬化が始まっていますよ」と言わなければいけないのだなと思った。

虚血性心疾患の長期予後改善のためには冠動脈自体の動脈硬化の予防が必須であり、先行し

た積極的リスク管理が必要であると実感した。では、動脈硬化はいつから起こるのか。初期病変は早期から始まり、10才前後から急に進み、30才頃になるといわゆる「動脈硬化」が現れる。30代であれば積極的なリスク管理をする必要がある。

虚血性心疾患のリスク因子としては高血圧、耐糖能異常、高脂血症、肥満、喫煙が挙げられる。冠危険因子数は多ければ多いほどリスクは高くなり、3ないし4個の因子でリスクは約30倍になる。中でも高血圧が最大の危険因子となっている。秋田県では30代から高血圧患者が急激に増えている。75才未満、冠動脈疾患患者では診察室血圧130/80 mmHg未満に、75才以上では診察室血圧140/90 mmHg未満に下げることが目標とする。収縮期血圧を10 mmHg下げると脳心血管イベントを20%減らせると言われている。

冠動脈自体の動脈硬化の予防

には先行した積極的な脂質異常の管理も重要である。動脈硬化のリスクが高い人では虚血所見や自覚症状がない時点ですでに動脈硬化が認められる病態（非閉塞性冠動脈疾患）がある。家族性高コレステロール血症では心筋梗塞で亡くなる率も高く、死亡年齢も低い。冠動脈CTで早期に動脈硬化を発見し、強化治療介入で冠動脈疾患の発症を予防することが重要と考える。LDLコレステロール70mg/dl以下を目標とし、さらに下げることによってプラークの退縮が期待される。

有意狭窄のない非閉塞性冠動脈硬化に対して早期に検出し介入出来ればいいかと考えているし、そのことを皆さんと共有出来ればいいかと考えている。



吉田賢志記者

ワンポイント アドバイス (26)



おらほの先生から一言

感染症法と感染対策について

質問

新型コロナウイルスの流行が大問題になっていきます。伝染病予防法や結核予防法と、現在の感染症法との関係も含め、法制度や対策等について教えて下さい。

ご指南役

香曾我部医院（男鹿市）

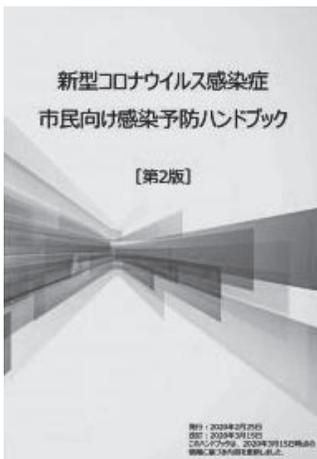
香曾我部 秀雄 先生



新型コロナウイルス感染症に関して毎日胸の痛むような報道が続き、ついに東京五輪の延期も決定、感染予防のため東京封鎖も検討が必要な事態となりました。国も医師会も可能な限りの感染対策を行っており、秋田県医師会でも最悪のシナリオも考え入院治療を受け持つ医療機関や病床の確保、公民館や公設診療所で新型コロナウイルスの診療だけをする仮設診療所をつくって対応する事も準備をしています。

未だ全容が判明していない感染症のため病院や診療所での感染予防も重要です。少しでも疑わしい症状のある方は、他人への感染予防のためにも事前に連絡なく待合室で待つような事態は避けなければいけません。電話などで確認してから受診して頂くようにお願いします。

そうしないと医師や看護師、職員が防護対策なしに患者さんを診察した後に陽



性だとわかった場合、休診せざるをえなくなり、医療崩壊しかねない状況となります。今回のクルーズ船での感染者に対処した自衛隊中央病院の報告では、事前に徹底した感染管理を維持し全員無事に退院し病院職員への感染は確認されなかったと報告されています。現在まで報告されている院内感染事例は新型コロナウイルス感染の診断がなされる前に生じていることが多く、感染がわかって対応すれば院内感染は起こりにくいとされています。

結核は非常に多くの人が苦しんでいた時代（昭和26年には罹患率人口10万人に対し69.8、死亡率11.0）があり、昭和26年に現在の感染症法の前身であ

る結核予防法が定められ結核対策を始めました。

その後、他の様々な感染症対策の必要性があり従来の伝染病予防法等を統合し感染症法が制定されました。時代の変化に伴い議論、改正が加えられ、人権への意識の高まりや、既存の結核予防法の問題点も是正する必要があり平成18年に結核予防法は廃止され、感染症法に統合、2類感染症に分類されました。医療費は公費負担となっており、感染症法は対象となる疾患が1類から5類に分類されており、新型コロナウイルスは指定感染症として閣議決定され、結核と同等の措置となっています。日本の結核の新規登録患者数は平成28年度で1万7千人を超える人数で、約7割が60才以上の方です（年々減少し罹患率10万人対14程度で、10未満の低蔓延国が目標です）。

様々な催しを取り止めとなり残念な方も多いと思います。私も息子の大学卒業式が中止、4

月からの病院勤務を案じている一人です。未だ不安なことはありますが、今個人でできる事は感染拡大を防ぐためパニックにならず、丁寧な手洗いや、密閉空間、密集場所、密接場面を避



井川町で歯科開業をしている橋本徹です。

今回「糖尿病と歯科」ないし「歯科感染症」について原稿依頼をいただきましたが、糖尿病と共に生活習慣病で、抜き差しならぬ関係にある「糖尿病と歯周病」を中心に書かせていただきますと思います。

現在、新型コロナウイルスが猛威を振るっています、WHOがパンデミック宣言をして、株価は暴落、世間は騒然として

ける等基本的な予防策を緩めずにしつかり守ることです。

〔新型コロナウイルス感染症市民向けハンドブック〕で検索、東北医科大学病院発行を参照できます。

糖尿病と歯周病

橋本歯科医院(井川町)

橋本 徹先生

いる感があり、この原稿が掲載されるころには収束に向かっていることを願うばかりです。

さて、歯科で感染症というと虫歯や歯周病が代表的ですが、何かピンと来ないぞ？ というのは当然で、今話題となっている、外来微生物ではなく、口腔常在菌による感染症（日和見感染）だからだと思います。口腔常在菌の中の一部をうまく飼育慣らす（共生する）ことができないと発症することになります。

歯周病の場合

- ①適切な歯磨き（歯周ポケットの細菌除去）
- ②口腔状態（唾液の量や質、咬合状態）
- ③全身状態（免疫力や抵抗力、投薬状況）

に大きく左右されることとなります。なかんずく糖尿病の方の場合、唾液量の減少と酸性化、細菌に対する抵抗力低下など②③が俄然不利になります。また、「糖尿病と歯周病」は慢性炎症というキーワードで繋がること、近年の研究で明らかになってきており、ヨーロッパ歯周病分類2018では進行度診断項目にHbA1c（血糖値）と高感度CRP（慢性炎症度）が加わりました。歯科医たちも、「糖尿病の方の歯周病は進みやすく治りにくい」というのは実感しています。

私の患者さんでは、50代の男性で、3年くらいの間に歯周病が重症化して歯がグラグラ、あつという間に上下総入れ歯に



上顎洞炎

なってしまう。退職後糖尿病が分かって、投薬が始まった、など辛い経験があります。インプラントでも植立後、高血糖が続くと、動揺や脱落することは知られています。

なかなか厄介な糖尿病の方の歯周病ですが、糖尿病内科医で、最近歯科医以上に歯周病治療の重要性を訴えている西田^{あな}先生が言われるように、医科歯科連携して2病気を同時に治療するのが効果的と私も思います。「歯周病と糖尿病」どちらも自覚症状が弱く、医療機関へ行った時が、「負の相互スパイラル」を断ち切るチャンスで

す。歯周病の炎症・進行度合いを示す歯周ポケットの深さは、血糖値(HbA1c)が改善すると、如実に改善してきます。モチベーションが上がリ、患者さんも頑張ります。糖尿病連携手帳を持参して来院するようになったら未来は明るいですね。

末筆になりましたが、風邪のシーズンには(今季3名)、治

りに急性上顎洞炎(副鼻腔炎)で、歯の痛みを訴え来院される患者さんがおられます。X線検査(写真)後、耳鼻科の受診をお願いしています。鼻閉・頬部圧痛・跳ねると響くなどが特徴です。歯が痛いのに何で?と怪訝そうな顔の方もおられます。コロナならずも風邪は侮れませんね。

行かなかった人、あるいは年数回の人に比べ寿命が延びました。当然、元氣だから行けたと考えられますが、解析の結果は認知機能、精神状態、身体能力とは無関係でした。

秋田では美術館に出かけても、人は少なくその点ではゆっくりと鑑賞できます。横手の近代美術館は平日は貸し切り状態でおすすぬスポーツです。特別展や常設展以外にも世界の美術館をハイビジョンで紹介するコーナーもあり楽しめます。ただあまりにも人が居ない事があり、少し不気味な感じがする事もあります。

長生きは芸術から



佐藤医院 (男鹿市)

佐藤 浩和

新型コロナウイルス情報満載の週刊文春と週刊新潮が日常手にする文献ですが…たまにはと

思い、ご存知の青い表紙のブリティッシュ・メデイカル・ジャーナル(2019;367:16377)を20年ぶりに読んでみました。web版です。

結論から言うと、いわゆる芸術に足を運ぶと長生きをするという報告です。ロンドン大学からの報告で、50才以上のイギリス人8552人を対象に約14年間フォローアップ。

博物館、美術館、展示会、コンサート、オペラなどこれらに毎月1回以上行った人は、全く

一方、美術館が多く集まる上野周辺では、高齢者の入場料に割引があるにしても、何処から来たのかと思うほどの多くの高齢者の方が車椅子に乗ったり、杖をつけて鑑賞する姿が目につきます。中にはHOTで酸素吸入されている方もいて平日も混雑しています。電車を乗り継いだり、お元気な方々が多いよう

です。当院の患者さんに比べ、その活動性の高さに驚きます。

寿命に差があるのは、医療福祉、生活習慣の他にこの文献が指摘しているように文化、芸術への対応の違いも関係あるかなと思ったところです。

また既に言われている事かもしれないませんが、対象者のプロフィールの一覧をみると、経営者あるいはプロフェッショナルな仕事をしている人の方が、時々仕事をする人や、単純作業



浦城のカタクリ (八郎潟町)

の人に比べ長生きするようです。やはり死ぬまで診療すべきでしょう。

オペラや美術館などに益々行きたくなる場所ですが、今の新型コロナウイルスの流行を考えると躊躇する場所です。

ここは自宅に閉じこもり、BS放送で山田五郎先生のぶらぶら美術館を見る。これなら週一回美術館や博物館に行った事に

なります。さらにNHKのプレ

ミアムシアターとWOWOWのMET(編注メトロポリタン・

オペラ)ライブビューイングも。これで月2、3回のコンサート、オペラ鑑賞となり、長生きできそうです。

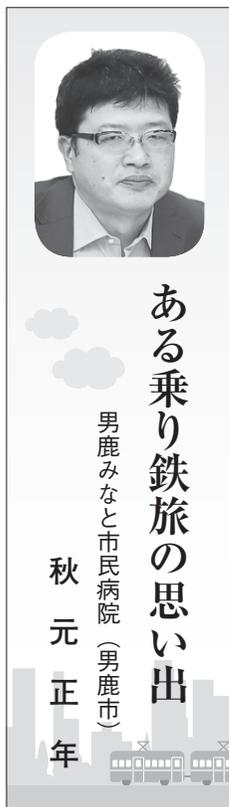
次回は、三浦一樹先生からの赤十字病院つながりで、同院で研修された男鹿整形の鎌田玄徳先生にお願いします。



ある乗り鉄旅の思い出

男鹿みなと市民病院(男鹿市)

秋元 正年



過去に走っていた鉄道の話のひとつ。僕が中学校1年生になった年、青函トンネルが完成した。小学校高学年から鉄道時刻表の使い方を自分なりに覚えて、どういふわけか北海道の、函館よりもさらに北へ行くことを模索した。両親に相談する

と、夜行で青森から出て次の日の夜には戻ってくることを条件に、彼らは了承してくれた。

手書きのスケジュールを父にチェックしてもらい、中学校1年生のゴールデンウィークの某日夜、両親に青森駅まで送られて午後10時過ぎに出発する夜間

急行「はまなす」に乗る。寝台車だと寝過ごしして終点の札幌まで行くかもしれないので、父が買ってくれた座席の指定席の車両に乗り込むと、青函トンネルに達する前から寝てしまった。今なら札幌までいろいろ見て歩く方法があっただろう。その点、中学校1年生にとっては、都会過ぎて日帰りできないかもしれないと考えた父は、翌朝4時過ぎに東室蘭で降りて、そこから折り返すことを指示した。それに合わせて、「降りた駅の待合室には自販機のカップヌードルがあるはずだから食ってみろ」と語っていた父の言葉を思い出し、その味と温かみに安らぎを覚えて、函館方面へ行く鈍行に乗った。車窓には、普段暮らしている秋田とは何となく違う伸びやかな景色があった。煙を上げていた有珠山や、当時の中学生向けの学習雑誌に「畑だったところが徐々に隆起してできた」と紹介された昭和新山を眺めつつ、洞爺駅で降りた。

折よく滑り込んだ、上野発札幌行き「北斗星」を、当時出ていた「写ルンです」に収めて、バスで洞爺湖へ。

湖畔中心街のバス停から歩いて遊覧船に乗る。中島に降りたらエゾシカが出迎えた。隆々とした角を持つ鹿たちに気圧されて、ダニや寄生虫の知識もなく、触れ合う勇氣もなのまま島内をさまよって湖を離れた。昼頃に函館行きの特急「北斗」に乗る。車内案内では駒ヶ岳の紹介をしていた。きれいな山だと思っただけで眺めていたら函館に着いていた。

実はこのころ食べたもの、買ったものを覚えていない。それは約束の列車をすっぽかしたら、路銀が乏しい状態で夜をどう過ごすか知らなかったからだ。幸い、そのころは函館から秋田経由大阪行きの寝台特急「日本海」が走っていて、函館から、実家に近い鷹ノ巣まで立席特急券で乗ることができた。父はそこに着眼し、これで帰る

よう指示していた。午後5時ころに出発する特急を逃すまいと、午後3時頃から待合室で居眠りをして時間を潰した。

やがて、列車に乗ると秋田までボックスシート扱いの寝台車の席に腰かけた。4人掛けのボックスシートには乗客多数。それぞれ道内の土産を提げており、互いの報告をしあつて旅の余韻に浸っていると青函トンネルを過ぎていた。そして眠る間もなく午後9時過ぎに、両親が待つ鷹ノ巣で降りて帰宅した。こんな企てに協力してくれた父は、寝台特急「あけぼの」廃止から1ヵ月後に亡くなった。今頃、どうしているだろうと思いを馳せる早春である。



私のおすすめの本

『僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ・著

出戸診療所（潟上市）

萱 場 恵



親子の成長物語

昨年末に中国から始まったコロナウイルス感染症は、未だ収束することなく、世界中に拡散されています。

各国が鎖国のように渡航禁止、入国禁止、国内ですら移動の制限をかけ、経済活動だけでなく、日常生活もままならなく

なっているとあります。世界中の平和の祭典（と思われる）オリンピックも、その開催が危惧されています。

ウイルスは、その人類の慌てふためいている姿をあざ笑うかのごとく、人種も、民族も、性別も区別することも差別することもなく襲っています。

鬱々とした毎日の中で、最近、私が読んだのは、『僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー』というノンフィクションです。著者は、ブレイディみかこさん。

福岡県出身で、現在アイルランド人の夫とイギリス南端にあるブライトンに20年以上住まわられています。彼女には男の子がいて、この子と友人たちの1年半の中学校生活を書いた本です。本屋大賞2019ノンフィクション本大賞を取られており、最近ではテレビ出演も何度かされていますので、本を読まれた方も多いかと思いますが、紹介させて頂きます。

子ども嫌いだった彼女でしたが、40才を過ぎて子どもが誕生すると、『世の中に子どももほど面白いものはない』と思うようになり、保育士の資格まで取って、彼女の言うところの「底辺託児所」で働き始めます。息子はその後、カトリック系のエリート小学校に進みます。が、中学校に進学するときに、地元「元底辺中学校」を見学し、楽しそうな子どもの様子に入学します。

たびたび「底辺」という言葉が出てきますが、イギリスは、政権交代があつてから緊縮財政が始まり、貧困層が増加しました。主に白人労働者階級の人に多く、その家庭の子どもは地元

の公立学校に通います。貧しさ、空腹で制服が買えない、食事も十分にとれず食料品を万引きしてしまう、薬物の売人にさられてしまう子どももいて、先生方は、身銭を切つて買い与えたりしているそうです。

みかさんも制服リサイクルの修繕ボランティアをしたり、路上生活者のヘルプをしたりしています。息子は学校生活の中で、東洋人でも白人でもない自分自身を見つめながら、社会と関わり成長していきます。彼女は、子どもの疑問に誠実にごまかさずに答えます。彼が体外受精で生まれたことも。

この本を読んで、EU離脱を決めたイギリスの現在、日本との学校教育の違い、人種差別、生活格差がいかにか心を荒ませるか、子どもとどう向き合うか（私の子育ては終わりましたが）を考えさせられました。子どもの貧困は日本でも取り上げられますが、これからの日本を



担う子どもたちだけでなく、世界中の子どもたちに良い教育がなされ、平和な日常がくることを願わずにはいられない気持ちになりました。

コロナ感染で外出が躊躇われるときは、お気に入りの本をゆつくり読んでみるのもよいですね。もちろん、一刻も早い終息を願っています。

Column ふんふんコラム

今日の豪州(3月29日)

KOYA・S (物理学者)

こちらは鎖国状態だ。国際空港は外国から帰ってくるオーストラリア人と永住者くらいらしい。この国から出ていく外国人はいるのだらう。帰国者は2週間、空港ホテルに隔離される。安くない。入州規制が拡がり、していないのはシドニーのあるニューサウスウェールズとメルボルンのビクトリアだけ。

外出禁止というわけではないが、なるべく出ないようにとモリソン首相は3回も国民に語りかけ

た。「不自由だが効果は少しずつ出てきている。皆さんご協力ありがとう」

コンサートも映画館も図書館もパブも閉まった。レストランとカフェは持ち出しのみ。出勤せず自宅での仕事を勧め、集会は禁止、個人的な集まりもやめよ、結婚式は新郎新婦と仲人と牧師の5人、葬式は特別10人までとか。別に不便はない。

みんな家にこもってやることなく、10カ月後にはベビーブームだな。ウィルスのせいでお老人が減って赤ちゃんが増える…日本だったら少子高齢化解消の一助にならないか。悪いことばかりではない。ふんころがし君もご無事で。(ふんころがし)

ナイトキャッフ

桜貝に誓う

たむら船越クリニック（男鹿市）

田村 広美

運転は嫌いじゃない。今年
は雪がないので冬でもあちこ
ち出かけていた。時には車で
寝ることも。後部座席を倒
し、マットに寝袋。電気毛布
にFFヒーター。車内はちっ
とも寒くはない。酒田のピザ
屋さんで夕食、雪の月山道路
を抜け寒^さ河江^{がえ}のパーキングエ
リアで一泊。今夜の映画は
『恋妻家宮本』。阿部寛と天海
祐希。どちらも初老夫婦の好
きな俳優の組み合わせ。見終

わった時には眠くなり、朝起き
たら外は雪景色だった、なんて
いうことも。

3月、晴れた日曜日、ちよつ
と寝坊したけどいい天気。まず
はお気に入りのパン屋さんに開
店と同時に到着。駐車スペース
が限られていて僕は車で待つ。
目的は朝食用のパンだったはず
だが、奥さんは両手に袋を持っ
て出てきた。「だって美味しそ
うなのがいっぱいあるんだも
ん。これは今食べるぶん。こ
れは途中のおやつで、これは明
日の朝食べてもいいでしょ。
こつちはおばあちゃんのお土産
ね。おばあちゃん、パン好きだ
から：」（僕らが痩せない理由
がわかる）

クリニックでカルテ整理の残
りを少しだけ片付け、コンビニ
で、彼女は特茶ジャスミン、僕
はダイエツトコーラ（二人とも
こんなところで、ささやかにダ
イエツトを気にしている）を仕
入れて改めて出発。

左手に春の海。「ウエストコー
ストのシーサイドコースだぞ」
「それってちよつと誤解を招く
表現じゃない?」「だって標識
は『男鹿半島西海岸』だし。C
D好きなのにしていいよ」僕の
ナビの中は、90年代以前の曲ば
かり。カリフォルニアシヤワー
（渡辺貞夫）でドライブはスター
ト。稲垣潤一、山下達郎、ユー
ミン：のんびりと景色を見なが
ら、何台かに追い越され、のた
りのたりと（?）車は進む。

途中で誰もいない砂浜に降り
てみる。「あんまり貝殻ないね
え」「うん」と言いながら、僕は、
由比ガ浜を歩く中井貴一のように
に頑張つて桜貝をひとつだけ見
つけた。桜貝は春の季語だ。

夕食は、帰りのスーパにた
くさん並んでいた刺身用の鯛で
カルパッチョ。茹でたホワイト
アスパラにはレモンバターソー
スが添えてある。おじいちゃん
たちが採ってきたフキノトウの
天ぷらも。「鯛は敷いてあるカ

ブと一緒に食べてね。これは
湘南ゾールドだよ」鯛の上に
ディルと一緒に散らしてある
「春のみかん」のことらしい。
白ワインのソーダ割がうまい。

この春は、世界中にコロナ
ウイルスの嵐が吹き荒れ、ク
リニックは小舟のように翻弄
されている。いつの間にかワ
イングラスをショットグラス
に持ち替えた船長はふとひら
めく。彼はいつも突然いるい
ろひらめくのだ。由美ちゃん
を守ろうと突然決心する薫君
のように。グラスの中はグレ
ンアラヒー25年。ゲール語で
「岩の谷」。華やかなものが多
いスベイスイドの中心にあり
ながら少し地味な、でも
ちよつと骨のあるウイスキー。
スタッフもクリニックも女
房も守ろう、次の美味い一杯
を飲むために。
酒飲みにとって、一杯の酒
は十分に人生の目標に値する。

〈酔〉



▼気球に乗ると、地上で肌を感じる風をほとんど感じない。体が風と共に動くからである。新型コロナウイルス騒動も、渦中にある私たちはどこか体感が乏しい。いずれにせよ新型コロナウイルス「前」と「後」は歴史的に峻別されるだろう▼といった訳でコロナと感染症を特集した。日々更新される諸統計や法的措置などの流動性から、原稿の集まりは期待薄であったが、どっこい、多彩かつ有用な玉稿多数。編集部は正直、



気球（横手市平鹿）（2019年5月）

コロナみたいな目を丸くした。感謝に堪えない▼浅利先生は感染症と情報開示の関係、医療体制を資本の論理で考える危険性をご指摘。約30年前に精神病院をほぼ全廃したイタリアは、返す刀で一般病院の病床も削減し、今の混乱を招いたとされる▼笹尾先生はジェンナーの種痘と細菌の発見からウイルスの知見に至る感染症の歴史を網羅された。呼吸器系学者の三浦先生は新型コロナウイルスを題材にアカデミックな「妄想」を開陳、読者の脳細胞を刺激するものと思われる▼くらかの佐藤栄進氏と菊地秀樹氏による同施設の報告では、面会制限に対しテレビ電話で入所者と家族を結んでいる。素晴らしい。コロナで世界各国の首脳らはテレビ会議を多用している。終息後も税と経費削減に寄与しそう。新型コロナウイルスより人が怖い南秋調剤の阿部先生は、マスクについて様々な角度から書かれた。歯科の橋本先生は糖尿病と歯科口腔外科領域における感染症について、実に分かりやすく教授された。会員以外からの原稿に改めて感謝▼政府はコロナ対応に関して先の大戦から何も学んでいないと大窪先生は憤り、斜に構えた肥田野先生は、コロナで経済も国の形も崩壊すると憂えているようにお見受けした▼病院職員が大量に感染し機能を失う「医療崩壊」を心配する香曾我部先生は、結核の歴史を俯瞰し、感染症法では新型コロナウイルスが結核と同等の旧法定伝染病扱いとご説明。ともあれご子息の医師仲間入り、おめでとうござんす！▼萱場先生、久々のお薦め。人種、民族、性別を問わずに襲うコロナ禍から、英国の底辺に生きる子供たち、路上生活者らに関わる著者に深い共感を寄せている。ジョンソン英首相はテレビで「簡単な指示があります。今夜から外出禁止。違反すると罰則ですよ」と笑顔で語っていたが、その時は潜伏期だった：▼芸術を好む人は長生きするといふ浩和先生は、コロナ汚染の今こそ家で鑑賞をと、萱場先生と同じお薦め▼秋元先生の旅と



古城山からコロナを見る（角館）

父上の思い出は、コロナどこ吹く風。今号に一服の清涼剤▼生涯教育の吉田先生と連載エッセイ田村先生、パリと豪州の友に感謝▼ずっと家から出てないというおばちゃんが受診した。「テレビで小池都知事が出るなんて」あのね、井川町は東京みたいに人が多くないから出ていいの▼97号発行の7月は東京五輪で沸き立つ日本のはずであった。感染者数に拘らず経済その他の影響が地球規模に及ぶコロナ。7月、私たちはどんな景色を見ているだろうか。

（編集長 佐々木康雄）

表紙説明とパリ便り

創まり／始まり (2017年)

トモコ・オベール (画家 フランス・パリ)

この絵は色を見てもわかるようにポジティブ。新型コロナはネガティブに変形しています。

マリ・キュリー研究記念会の館長の昔インタヴューした時、私の作品の写真を見た彼はすぐ研究所発行の立派な細胞写真の本を出して「これ、あなたの作品と同じです」とびっくりし、その本をくれました。「宇宙空間と人間の細胞の色・形には共通点があると私はずっと前から思っていました」と礼を述べたら感動していました。



大統領令で3月18日正午より

パリは外出禁止になった。約2週間というけどまたズルズル延ばすよ。国境も閉鎖。今夜も大統領官邸から演説があるみたい。このところ毎晩30分くらい国民に呼びかけている。明快で、分かりやすく、自信をもって(ハツタリ?)話す。「これは戦争だ。見えないがどこにもいる敵だ。でも恐れることはない」とか何とか。牧師の説教ね。

今朝(23日)軍隊の人に紙と身分証明書の提示を求められた。「遠い。なぜここに来た?」「あ、家から近いわよ」「いや、遠すぎる。1kmの制限を超えている。家の近くだけだ。もうすぐマクロン大統領から別の命令が出される」「今後1歩も出るな、とかね」と言い返したら黙っていた。日向ぼっこしていた中年おばさん2人にも「ここにいるな。すぐ

帰れ」って。あまり軍の人に逆らわない方がいいね。昨日は散歩中ドローンが「家に帰れ」とか何とかうるさく叫んでいた。現実味がない。まるでSFか夢の世界みたい。

「紙」①コンビニエーター等でできない、その人が行ってやるしかない仕事・業務(水道やガスの緊急工事等)。銀行・会社・学校・店・映画館・劇場等全て休み。ホテル・空港も空っぽ。郵便局・食料品店・薬屋だけ開いている。メトロとバスは間引き運転。運転手から遠い後部ドアから乗り降り。②必要最低限の食料買い出しを近くの店で。③健康のための医者や病院の予約。④老親・家族・子供等に援助が必要なため。⑤近所で人と犬の散歩・ランニング(集団は禁。個人で間隔をあけて)。

どこまで効果あるか誰もわからないけど、国が配布したこの

ATTESTATION DE DÉPLACEMENT DÉROGATOIRE	
En application de l'article 1 ^{er} du décret du 16 mars 2020 portant réglementation des déplacements dans le cadre de la lutte contre la propagation du virus Covid-19 :	
Je soussigné(e)	
Mme / M.	OBER Tomoko
Né(e) le :	02 mai 1945
Demeurant :	
certifie que mon déplacement est lié au motif suivant (cocher la case) autorisé par l'article 1 ^{er} du décret du 16 mars 2020 portant réglementation des déplacements dans le cadre de la lutte contre la propagation du virus Covid-19 :	
<input checked="" type="checkbox"/>	déplacements pour effectuer des achats de première nécessité dans des établissements autorisés (liste sur gouvernement.fr)
<input checked="" type="checkbox"/>	déplacements brefs, à proximité du domicile, liés à l'activité physique individuelle des personnes, à l'exclusion de toute pratique sportive collective, et aux besoins des animaux de compagnie.
T. OBER	
Fait à Paris, le 22/03/2020	

トモコの外出許可書

紙にチェックして外に出れば罰金2万円は払わなくていいの。でも守らない人が多くて25日に罰金は最高45万円に引き上げられた。食料は備蓄したので大丈夫。肉も沢山買った。

今日のパリは良いお天気なのに空気がやはり沈鬱。峠はまだなのであと1か月この状態。それこそ「死ぬ人は死ぬ」。国は重症患者用に特急TGVの車両を使い始め、仏海外県に停泊していた医療戦艦もすぐ着くって。

お便りは 〒018-11401

潟上市昭和久保字町後173-42
ハートインクリニック 佐々木 康雄

医師会メールアドレス info@oknmed.jp